

漁協文庫の未来にむけてのシンポジウム 漁村文化と大島の未来

気仙沼大島ではこの夏、大島漁協文庫開設のため、学生や研究者たちが島の人々と奮闘しています。2011年の大震災で浸水した漁協の系統的な資料は、救出再生作業を経て大島に戻りました。最終段階の資料の整理が行われ、収蔵し閲覧研究する施設は、実に4年の歳月を経て完成します。シンポジウムは、明治以降から今日までの協同組合の成立や、漁業権・漁法・漁場の設定と発展を記録した漁協文庫の意義を確かめ、研究の場としての今後の活用について議論します。

日時：2015年9月26日（土）

12:30 - 16:00

場所：気仙沼大島公民館

〒988-0604 宮城県気仙沼市廻館 110

大島漁協文庫

〒988-0612 宮城県気仙沼市大向 245-1

12:00 より会場（公民館）にて

《大島カブカリー》の試食があります。

（気仙沼大島みらい創り協議会のご提供）

【プログラム】

12:30-12:40

開会挨拶

田上 繁（神奈川大学日本常民文化研究所所長）

12:40-13:15

「大島漁協地先専用漁業権取得運動」

千葉 勝衛（『大島漁業組合 100 年史』主筆）

13:15-13:50

「大島のカツオ漁—歴史と民俗をめぐって—」

川島 秀一（東北大学災害科学国際研究所教授）

13:50-14:20

「漁協文書の今日的意味—保存と活用について—」

山内 繁（気仙沼市文化財保護審議会委員長）

<休憩>

14:25-15:00

「漁場図から見えるもの—漁協文庫への期待—」

安室 知（神奈川大学日本常民文化研究所所員）

15:00-15:50

討論

司会 重村 力（神奈川大学日本常民文化研究所所員）

16:00

閉会挨拶

水上 忠夫

（元宮城県漁協気仙沼地区支所大島出張所運営委員代表）



【漁協文庫内覧会のご案内】

シンポジウムの開催に合わせ、新築の「大島漁協文庫」の内覧会を行います。

開催日時：9月26日（土） 11:30～11:45

上記時刻に漁協文庫建物前にお集まりください。

設計担当の三笠友洋（神奈川大学工学部建築学科）による解説があります。

※内覧会は、気仙沼エースポート 10:40 発の大島到着に合わせて行います。

浦ノ浜に迎えの車を準備しますので、島外からおいでの方はご利用ください。

※漁協文庫とシンポジウム会場（公民館）は、徒歩 10 分です。

○気仙沼市外からおいでの方へ

・気仙沼港エースポート（フェリー乗り場）へは、JR 気仙沼駅からタクシーで 10 分程度です。

・気仙沼港エースポートから大島浦の浜港の乗船時間は約 25 分です。

・シンポジウム終了後、大島浦の浜港 16:20 発のフェリーに乗船し、JR 気仙沼駅から JR 大船渡線で一関、一関から新幹線に乗ると、22:00 頃には東京駅に到着いたします。

主催：神奈川大学日本常民文化研究所

共催：神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科

神奈川大学工学部建築学科重村・三笠研究室

後援：気仙沼市、気仙沼市教育委員会、宮城県漁業協同組合

三井物産環境基金、神奈川大学宮城県宮陵会、大島漁協文庫の会

協力：気仙沼大島みらい創り協議会

お問い合わせ

神奈川大学日本常民文化研究所

045-481-5661 内線 4358

神奈川大学建築学科 重村・三笠研究室

045-481-5661 内線 3434

メールアドレス

oshima-library@kanagawa-u.ac.jp

大島航路時刻表

便	大島（浦ノ浜港）発	気仙沼（エースポート）発
-	発時刻	発時刻
1	6:00	6:40
2	6:40	7:20
3	7:20	8:00
4	8:00	8:40
5	8:40	9:20
6	9:20	10:00
7	10:00	10:40
8	10:40	11:40
9	11:40	12:40
10	12:40	13:40
11	13:40	14:30
12	14:30	15:20
13	15:20	16:20
14	16:20	17:30
15	17:30	18:20
16	18:20	19:00

